

事務事業 No./名 称	■サービス部門 こども-30 あおぞら園管理運営事業 □支 援 部 門						
主管課	発達支援室 関連課 こどもみらい課・保育課・こども相談課・市民健康課・教育指導課						
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供する。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数	5,990人	6,013人	6,031人			
運営資源 状 況	決算値(千円)	50,088	42,330	42,646	・一般財源の(一)表示は、 国・県からの施設給付費等 が人件費を含んでいるため		
	(国・県)	73,786	68,611	69,237			
	(負担金等)	4,969	4,788	4,740			
	(一般財源)	-28,667	-31,069	-31,331			
	人員配置数	18.6	16.6	17.6			
	人 件 費(千円)	147,419	141,698	151,524			
	協 働 の パ ー ト ナ ー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	197,507	184,028	194,170	・事業の対象者数は年間延べ利用件数 ・開園日数(H24年度・228日、H23年度・ 223日、H22年度・221日、H21年度・218 日、H20年度・227日、H19年度・227日、 H18年度・227日)		
	市民1人当 りの経費(円)	1,114	1,039	1,096			
	対象者1人 当りの経費(円)	32,973	30,605	32,195			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
延べ利用件数	○	目標値	5,951人	5,901人	5,820人	6,156人	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	5,909人	6,031人	6,013人	5,990人	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒	方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止							
あおぞら園運営事業	21,662千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	発達に特別な支援を必要とする幼児に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的生活習慣や社会性の発達を援助する。													
あおぞら園管理事業	28,426千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	あおぞら園の施設管理及び通園バスの運行に係る経費を執行する。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	1 児童発達支援、保育所等訪問支援の地域支援を行う多機能型事業所として、これまで以上に専門性の蓄積、継承に努め、人材育成機能の拡大とともに、障害児の専門支援機関としての一層の充実を図る。 2 児童発達支援については、指定障害児通所支援事業所のみなし指定を神奈川県知事から受けているが、みなし指定期間が1年間であることから、新規指定申請が必要である。 3 保育所等訪問支援については、既存事業である巡回相談と対象者のすみわけ、実施方法の検討が必要である。 ※平成23年度より、指標の目標値を「定員(30人)×過去3年間の開園日数(事務事業運営経費の備考欄に記載)に対する出席率に、当該年度の定員(30人)×開園日数を乗じて得た数」としている。		
課題解決のための取組	1 あおぞら園人材育成プログラムに基づいた園内職員研修実施のほか、関係機関職員の研修、施設見学等視察の積極的な受け入れとともにボランティアについても高校生、大学生を中心に受け入れの拡充を図ってきた。 2 児童発達支援については、平成25年度新規申請を行った。 3 保育所等訪問支援については事業の対象の範囲を明確にし、訪問先施設である保育所、幼稚園、子どもの家(学童保育)に説明を行い、子どもの家(学童保育)に対しては、試行実施した。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	・多機能型事業所として、保育所等訪問支援を平成25年度から新たに事業実施するとともに、障害児支援の拠点施設として、地域の関係機関や子育て支援、福祉、教育分野との一層の連携強化を図っていく。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 児童発達支援センターは、児童発達支援、保育所等訪問支援を行う多機能型事業所として、地域の障害児支援の中核的な療育支援施設としての機能強化を図る。	※□事業完了 ↓ A	課長等名 発達支援室長 安 田 明
		②妥当性 ○				
		③有効性 ○				
		④公平性 ○				

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
あおぞら園運営事業	主な個別事業	80 嘱託医報酬	1,072	1,071	○	○	○	○
		80 栄養・給食等嘱託員報酬	3,360	3,269	○	○	○	○
		80 事務補助嘱託員報酬	2,056	2,056	○	○	○	○
		80 臨時的任用職員賃金	6,178	4,965	○	○	○	○
		80 給食賄材料費	4,953	4,453	○	○	○	○
		80 普通傷害保険料	406	405	○	○	○	○
		80 保育士派遣委託料	4,619	4,121	○	○	○	○
		80 県社会福祉協議会会費負担金	25	25	○	○	○	○
		80 市社会福祉協議会会費負担金	3	3	○	○	○	○
あおぞら園管理事業	主な個別事業	81 光熱水費	2,999	2,493	○	○	○	○
		81 修繕料	8,700	7,270	○	○	○	○
		81 自家用電気工作物保安管理等手数料	495	393	○	○	○	○
		81 総合施設管理業務委託料	6,397	5,462	○	○	○	○
		81 警備委託料	115	115	○	○	○	○
		81 通園バス運行委託料	11,252	11,202	○	○	○	○
		81 ゴキブリ防除等委託料	70	49	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							